

お知らせ

南海トラフ巨大地震に備えた愛知県石油コンビナート訓練に参加！
～海洋環境整備船「白龍」など10機関が「流出油防除訓練」を実施～

当事務所所属の海洋環境整備船「白龍」が、11月8日(火)に新日鐵住金(株)名古屋製鉄所(愛知県東海市東海町)及びその周辺海域において実施された南海トラフを震源とする地震を想定した「愛知県石油コンビナート等防災訓練」に参加しました。

1. 内容

本訓練には18機関が参加し、小雨が降る中、海上訓練と陸上訓練の2会場に分かれ訓練が実施されました。

海上訓練では、巨大地震の発生により津波が襲来し、石油コンビナートの油が流出する等の想定のもと、オイルフェンスの展張、流出油防除及び海上火災の消火訓練等が行われ、海洋環境整備船「白龍」は、流出油防除訓練に参加しました。

流出油防除訓練には10機関が参加し、岸壁から海上に油が流出した想定で実施され、海洋環境整備船「白龍」は、流出油が拡散しつつある現場海域において、油回収及び放水による航走拡散を行いました。(航走拡散は名古屋港管理組合の「ぽーとおぶなごや2」、新日鐵住金(株)快晴丸と合同で実施)

その後、名古屋海上保安部の巡視艇、伊勢湾防災(株)の消防艇及び伊勢湾三河湾タグ協会の曳船が放水拡散を行い、流出油防除訓練が終了しました。



流出油防除訓練の様子(白龍からの放水による流出油拡散作業)

2. 日時・場所

日時：平成28年11月8日(火) 13時30分～16時10分、

場所：愛知県東海市東海町(新日鐵住金(株)名古屋製鉄所)及びその周辺海域

3. 配布先 中部地方整備局記者クラブ、専門紙記者会、名古屋港記者クラブ、港湾新聞、
港湾空港タイムス、日本海事新聞、海事プレス

4. 問合せ先

国土交通省 中部地方整備局

名古屋港湾事務所 海洋環境・防災課 中野(なかの)・島田(しまだ)

Tel 052-651-6791 Fax 052-651-3801

海洋環境整備船「白龍」の概要

「白龍」の行う業務

- 通常は、伊勢湾・三河湾の海面浮遊ゴミの回収作業
- 油流出時には、速やかに流出現場に向かい油回収作業
- 伊勢湾の環境メカニズム解明のために、水質及び底質の定期的な観測を実施。
- 大規模地震・津波発生時の航路啓開。



担務海域
伊勢湾・三河湾 (1,800km²)



諸元
全長 33.5m
全幅 11.6m
総トン数198t

中部地方整備局 名古屋港湾事務所 所属



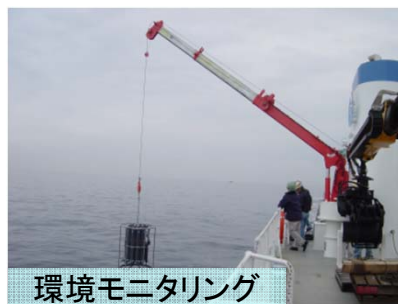
ゴミ回収状況



ゴミ回収状況



油回収装置



環境モニタリング



回収ゴミの陸揚げ

東日本大震災における災害支援(海上漂流物の除去) (平成23年4月23日～5月19日)

○海上物流拠点の仙台塩釜港及び石巻港を有する仙台湾周辺海域において、航行船舶の安全を図るため津波により発生した大量の漂流物を回収。

○漂流物回収量【239.1m³】